

はじめに

本市では、団塊の世代のすべての人が75歳以上の後期高齢者になる2025年を見据え、市民の皆さまが高齢になっても、いつまでも元気で過ごせるよう、ラジオ体操やウォーキングをはじめ、生きがいくりのための趣味やスポーツ、ボランティア活動などを行うことで、いつまでも活躍できる「生涯現役社会の実現」を目指しています。これは、横須賀のまちが、「選ばれるまち」であり続けるためにも必要なことだと考えています。

また、介護が必要な状態になっても、誰もが自分らしく安心して暮らし続けていけるよう、「医療」、「介護」、「介護予防」、「住まい」、「生活支援」を一体的に提供していく「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。

このたび、国が新たに示した介護保険制度の改正に対応した「横須賀高齢者保健福祉計画（第6期介護保険事業計画を含む）」を策定いたしました。これからの社会は、「地域での支え合い」もますます重要になります。市民の皆さまにもご協力をいただきながら、この計画を着実に推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました横須賀市社会福祉審議会の委員の皆さまをはじめ、アンケートやパブリック・コメント手続などにご協力をいただきました多くの市民の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

平成27年（2015年）2月

横須賀市長 **吉田 雄人**